

かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～

第 12 回かごしまグランドマスター試験

模 範 解 答

(1 . 解答例)

リアス式海岸は谷が沈水し、入り組んだ地形を示す海岸で、坊津から野間半島へ至る海岸や加計呂麻島に発達している。砂丘は東シナ海に面した約 30 キロメートルの吹上浜が有名で、日本三大砂丘のひとつに挙げられている。古い地層が隆起し、波によって削られ穿たれた海蝕洞は、種子島の南東部に見られ、犬城海岸の馬立ての岩屋や、浜田海岸の千座の岩屋が有名である。数十万年前のサンゴ礁が隆起した沖永良部島では、波によって浸食された石灰岩が美しい海蝕崖を形成している。田皆岬の海蝕崖が有名である。(235 字)

(2 . 解答例)

1862 年、江戸からの帰路について島津久光の行列が相州生麦村を通過の際、行列に馬で乗りいれた英国人リチャードソンら 4 名を殺傷するという生麦事件が発生した。イギリスは賠償金の要求を突き放した薩摩藩に対し、錦江湾に艦隊を率いて来航、薩英戦争が始まった。この戦争で薩摩は城下の一部と集成館の工場群を焼失した。西洋の技術に及ばないことを痛感した薩摩藩は急いで和平交渉に入り、技術導入を図るため、寺島宗則や五代友厚らの使節と藩費留学生をイギリスに派遣した。(219 字)

(3 . 解答例)

神代の皇祖を葬つてあるとされる吾平、高屋、可愛の三陵墓である。鹿屋市吾平町にある吾平山陵は鵜戸権現岩屋とも呼ばれており、洞窟の中に造られた全国的にも珍しい形態である。高屋山陵は霧島市溝辺町にあり、その位置に関して古事記に「高千穂山の西にあり」という記載がある。可愛（えの）山陵は薩摩川内市にあり、呼び名の由来はこの山がかつて川内川の「江の島山」であったことから「江の」を「可愛」に当てたと伝えられる。(199 字)

(4. 解答例)

甕島は、川内川河口から西方約 26km の東シナ海上に位置し、上甕島、中甕島、下甕島の 3 つの島からなり、上甕島と中甕島は甕大明神橋、鹿の子大橋で結ばれている。里のトンボロ、長めの浜の潟湖群、ナポレオン岩など手つかずの自然が残されており、鹿島断崖一帯はウミネコの繁殖南限地としても知られている。また、貝池には、30 億年前の微生物クロマチウムが国内で唯一生息している。キビナゴ、ウニなどの海産物が豊富で、これらの水産加工品は島の特産品となっている。(220 字)

(5. 解答例)

①弥五郎どん祭り ②内之浦（肝付町）③輝北 ④和田英作 ⑤瀬戸口藤吉

【200 字程度の文章】

志布志港は、南九州地域の貨物を取り扱う港として、九州で唯一の中核国際港湾として位置づけられており、新若浜地区では、5 万トン級の貨物船が接岸可能な水深 14 m の岸壁を有する多目的国際ターミナルを整備した。志布志湾の背後圏の南九州地域は、肉牛、豚、鶏などの畜産の生産量が日本一という食料基地であり、志布志港には、とうもろこし、牧草、稲わらなどの飼料原料を積んだ穀物船やコンテナ船が世界各国から入港している。(201 字)